

レニーと学ぼう! インスリンポンプサークル Insulin pump Circle

CGM編

No. 4



「『まっすぐに』がポイント! 正しいセンサ装着の方法を理解しましょう」の巻



Q なぜ、センサを装着するときに『まっすぐに』手技を行うことが大切なの?



A サータを斜めに引き上げてしまったり、針(ニードルハブ)を斜めに抜いてしまったりすると、正しくセンサが装着できず失敗の原因となるから要注意なんじゃ!

センサの装着を『まっすぐに』行うポイントとは?

サータや針(ニードルハブ)を引き上げるときは、肘の角度を保ちながら、まっすぐに行いましょう。肘を起点にして抜いてしまうと斜めになりやすく、失敗の原因になるので注意しましょう。

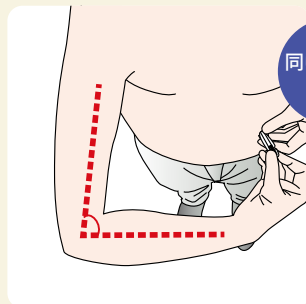
針を抜く



ニードルハブ
センサベース

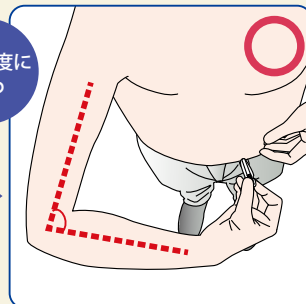
ギザギザしている部分

針(ニードルハブ)の上部(ギザギザしている部分)を持ってまっすぐに引き抜く。

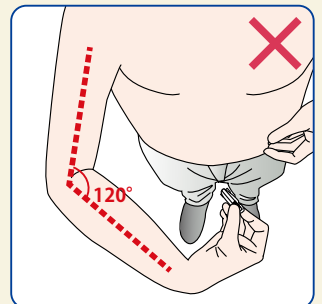


同じ角度に保つ

針(ニードルハブ)の上部を持つ



肘の角度を保ったまま引き抜く



肘が90度以上開いてしまい、針が斜めに抜かれてしまっている

センサ装着を失敗しないために『まっすぐに』手技を行うことが大切なんじゃよ!





Check point!

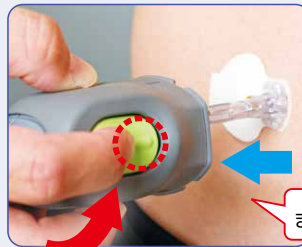
肘の角度を常に保つよう意識しながら、次の手技を『まっすぐに』行ってください。

サータを 引き上げるとき



テーブルに置いたプラスチックの台座の両端を押さえ、サータをまっすぐに引き上げます。

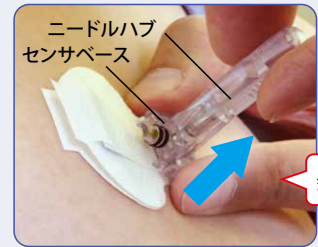
サータを押したまま 引き上げるとき



ボタンの下部(小さな突起がある部分)を強く押しながら、サータをまっすぐに引き上げます。斜めになっていると引っ掛かってしまい、失敗の原因になります。

※ボタンを押して引き上げるときは、サータを皮膚に強く押し付けすぎないようにご注意ください。

針を抜くとき



センサベースを押さえながら針(ニードルハブ)の上部(ギザギザしている部分)を持って、まっすぐに引き抜きます。ねじったり、斜めになったりしていると失敗の原因になります。

他にもある、『まっすぐに』行うポイント!

トランスミッタを接続したり取り外したりするときは、接続部分の損傷を避けるため状態をねじらないよう、まっすぐにして行ってください。

充電したトランスミッタ を接続する



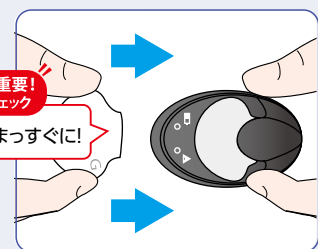
センサの頭頂部を押さえながらトランスミッタをまっすぐにセンサに接続します。

センサをトランスミッタ から外す



リリースボタンをつまみながらトランスミッタをセンサからまっすぐに取り外します。

トランスミッタを 充電する



接続部分の損傷を避けるため、トランスミッタは絶対にねじらないようまっすぐに接続します。

製品を安全にご使用いただくため、必ず添付文書とユーザガイドを併せてご確認ください。

日本メドトロニック株式会社

ダイアピーティス事業部
〒108-0075 東京都港区港南1-2-70

medtronic.co.jp

販売名:メドトロニック ミニメド 600 シリーズ
医療機器承認番号:22500BZX00369000

販売名:メドトロニック iPro2
医療機器承認番号:22300BZX00435000

インスリンポンプやパーソナルCGMの使用法、アラーム対処などのトラブルでお困りのときは下記へご連絡ください

24時間
サポートライン **0120-56-32-56**

製品の使用方法やよくある質問などをご紹介しています。

www.medtronic-dm.jp/

パソコン、スマートフォンやタブレット端末からもアクセスできます。

